

大阪健康安全基盤研究所の施設整備に係る基本構想策定について

基本構想は、建築物を建設する際、その施設に「どのような用途・内容が要求されているのか」など、建築物を図面化するまでにソフト面を中心に検討するものである。

大阪健康安全基盤研究所（以下「研究所」という。）の施設整備に向けては、新たな研究所に求められる施設の機能、規模及び建設計画に関する考え方等、次の内容等について検討し、基本構想を策定する。

(1) 基本方針の検討

- ・ 現在の研究施設の状況や課題等を整理する。
- ・ 新施設の整備に係る基本方針（基本理念、整備コンセプト等）を設定する。

(2) 基本条件の整理

- ・ 施設統合による強化すべき機能及び各部門（総務企画、感染症など）の役割や位置づけ、構成、規模等の概要を整理する。
- ・ 各部門を含めた施設全体に必要な所要室、導入機能の検討、整理を行う。

(3) 施設計画の概略検討

- ・ (2)の所要室、導入機能等に基づく必要規模・面積の検討を行う。
- ・ 各施設、部門のゾーニング及びフロア構成の検討を行う。
- ・ 設置が想定される実験機器及び什器等の整理、抽出を行う。

(4) 概算事業費・スケジュールの検討

- ・ 施設計画の検討を踏まえ、イニシャルコストの概算を行う。
- ・ 管理運営に係る方針の検討及びランニングコストの概算を行う。
- ・ 事業スケジュールの検討を行う。

【施設整備に係るスケジュール（案）】

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
基本構想策定	基本計画策定	基本設計作成	実施設計作成	整備工事発注、着工